

人間の条件 そんなものない

を読んだ人に

著者 立石具也さんからのおすすめメディア

恥ずかしついでに中～高校の時に読み聞かしていたもの順番に。
小説は忘れたので略。

『谷川俊太郎詩集』(1965、思潮社、「続」は1979、思潮社)

大人になってからも本の題に使える言葉ないかと聞くことあり。
成功したことはなし。



The Rolling Stones のいろいろの中の幾つか

学校に行く前威勢よくなるため聞いていたのがどれだったのか、
特定できませんでした。

Eric Dolphy at the Five Spot, Volume 2

(録音1961、CDあり)

偉すぎでめったに聞かない人ですが、“Aggression”は頭に来てる時とかよいです。

武満徹「ガーデンレイン」

(録音1974、LP『ミニチュール第5集』、題名の違う中身の同じCDは廃盤
だが他で探せなくはない)

高校の図書館で借りた『音、沈黙と測りあえるほどに』(1971、新潮社)を見つけて知って最初に買ったLPに収録。初期の曲の方が私は好き。

最後のは大学に入ってから

『1900年』(1976、ペルナルド・ベルトルッチ監督)

映画観ていると人生終わりそうなので、25年ほど前に観るのをやめました。

編集部からのおすすめ本

●「よりみちパン!セイ!」シリーズ内の本

* 2011年秋以降は復刊される予定の本も含まれています。

1月後

誕生日

伏見憲明『さびしさの授業』／貴戸理恵+常野雄次郎『不登校、選んだわけじゃないんだぜ!』／小熊英二『増補改訂 日本という国』／倉本智明『だれか、ふつうを教えてくれ!』／鈴木邦男『失敗の愛国心』／森達也『きみが選んだ死刑のスイッチ』／湯浅誠『どんどんこい、貧困!』／綾屋紗月『前略、離婚を決めました』など。

●医学書院刊「ケアをひらく」シリーズ（読めば人生変わります）

川口有美子『逝かない身体：ALS的日常を生きる』（大宅壮一ノンフィクション賞受賞!）／熊谷晋一郎『リハビリの夜』／滝谷智子『コーダの世界：手話の文化と声の文化』／浦河べてるの家『べてるの家の「非」援助論：そのままでいいと思えるための25章』など。

●生活書院刊

横塚晃一『母よ！殺すな』

20世紀の偉人（本書127ページ）が遺した不朽の名作。

ほか、本文中に登場する本すべて。